

2020年度 第1回ビジョン委員会

議事録

日時 2020年4月7日(火) 13:30~15:00
会場 Web会議
出席者 11名

(敬称略)

代協	委員名	代協	委員名	代協	委員名
東京	高橋 克之	東京	岩瀬 憲昭	高知	中村 真宏
福島	星 一郎	静岡	大畑 邦明	福岡	大塚 昭彦
新潟	広田 久男	滋賀	大谷 和之		

<担当副会長> 小平 高義 <事務局> 専務理事：野元 敏昭、特命部長：大谷 隆(記)
：委員長 ：副委員長

<委員会での決定事項>

- ・大規模自然災害時の鑑定補助制度創設につき損保協会 PT からの中間報告を待ってから提言する
- ・正副会長論議の内容を踏まえ答申を作成する

議 事

・挨拶

1. 高橋委員長挨拶

- ・最後の委員会が、このような形で行われるのは非常に残念ではあるが最後にふさわしくしっかりと討議したい。
- ・委員会として非常に重い議題を討議してきたが、形にできたのではないか。
- ・委員会はなくなるが、次につながる討議としたいのでお願いします。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に高橋委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・審議事項

1. 会員資格・会費のあり方

高橋委員長より下記報告があった。

- ・基本的な考え方は変わっていないが会員資格・会費の考え方 P8 のタイトルを「募集従事者数に応じた会費の考え方」と直しました。
- ・これは一律の会費設定で運営できているところを否定するものではなく、募集従事者数に応じて設定する場合の考え方について触れたものです。

- ・今回、会員資格に問題が出てきたのは、答申（案）に記載しているが、会員増加により立場の異なる会員が増えてきたことによるものであり、会員資格を整理するために定款変更を推奨しました。
- ・代協標準定款モデル第2章 会員 第9条3項につき「正会員が代表する」という文言を削除することにより様々な立場の会員が一般会員として整理されるので提案します。
- ・会長懇談会で質問のあった定款変更に関する留意点について、一般会員の会員資格を変更可能としようとする踏み込んだ提案となっています。

2. 地震広域災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討

・事務局より損保協会担当者と事前打合せを行い大規模災害時の鑑定補助制度に関する要望書については現在、損保協会にて特別PTを設立し検討中であり、中間報告が5月頃開示される予定である。開示された内容に対する意見としてこれまで委員会で討議・検討してきたものを提言とすることができれば損保協会内で正式な検討の訴状に乗せることができると思われるので、報告書を修正させていただきたく審議願いたいとの提言があった。

・また、大規模自然災害の補足として毎年一兆円以上の保険金が支払われており、業界としては最大の問題となっている。保険会社としては調査の件数があまりにも多いことより、しっかりした査定を行うには十分な体制を整えなければならないことを危惧しており大きく2点につき検討が進められている。

(1)大規模自然災害時の査定業務を独禁法の適用除外にする（金融庁も支援し公正取引委員会との交渉に入る）ことにより全社がITやドローンを活用した同じような対応をすることが可能となる。

(2)特定修理業者の問題はどれだけ不正に支払われているかわからないが、毎年火災保険料が上がっており消費者から第二の保険金不払い問題だと声が上がらないよう警察とも連携して精力的に取り組んでいる。

・岩瀬副委員長より事務局からの提言内容で問題なしとの意見があり、大規模自然災害時の鑑定補助制度創設については損保協会PTでの中間報告を受けてからビジョン委員会でこれまで討議・検討してきたものを提言することで決定した。

3. 代理店経営支援策について

・事務局より3月末で一旦締めたサポートデスクへのウエイトの高い相談案件が報告された。

(1)労務管理（就業規則、給与支払い、合併の際の社員給与、高齢募集人とのトラブル、代理店転籍に伴う契約の移管、テレワーク等）

(2)自社の体制整備構築

(3)代理店の合併

(4)BCP,事業継続

・今年度は次年度の取組みを踏まえたうえで優先度の高い項目から順次支援策を提供していく予定。

(1)労務管理については、代理店の為の労務 Q&A を 6 月目途で作成・提供

(2)体制整備については、募集人 10 名程度の代理店の体制整備モデルを作成（上半期中）

(3)代理店の合併については、親族承継の留意点ガイドブック（上半期中）

(4)BCP、事業継続については落ち着いた段階で案内

(5)専業代理店の IT リテラシー（知識・使い方）について今後検討

・高橋委員長より、大分類に分けて開示することでサポートデスクへの関心が高まることであり答申にも記載しているとの報告があった。

4.1 年間の振り返り

・高橋委員長より、諮問事項に対する中間答申案が提示され、出来たこと・出来なかったこと等を確認し、委員会メンバーで共有した。

・その他、答申（案）につき内容確認・文言修正の意見交換を行った。

・小平副会長より、来週正副会長打合せがあるが、ビジョン委員会で討議・決定したことは委員会がなくなっても推進していくこととするので理解をいただきたいとの報告があった。

・メンバー全員の 1 年間の振り返りを行った。

・報告事項・情報共有

1. 理事会、ブロック長懇談会報告

・事前配布資料にて内容を確認した。

2. 2020 年度事業計画

・事前配布資料にて内容を確認した。

3. 2019 年度第 2 回活力研

・事前配布資料にて内容を確認した。

・その他・閉会

1．情報提供

- ・関東財務局が実施した代理店ヒアリング結果は4/24 開示するが、日本代協に対しては協力団体であることより事前に開示されるということなのでいち早く情報提供します。
- ・(大塚副委員長) 2年間お世話になりました、非常に重たいテーマを論議し全国代協の役に立てたのなら嬉しいです。
- ・(岩瀬副委員長) 会長経験者が4名いらっしゃるので意見を聞きながら、いかに都道府県の運営に苦心してきたかが垣間見えて非常に勉強になりました。これを今後の代協活動に役立てていきたいです。ありがとうございました。
- ・(高橋委員長) 非常に重い議題であったが、形にできたのではないか、この答申の仕上げまでみなさんの意見を direct 等でいただきたいです。2年間ありがとうございました。最後までよろしくをお願いします。

2．小平副会長挨拶

- ・2年間お疲れ様でした、ありがとうございました。
- ・当初メンバーを見たときに驚いたが、皆さんの経験が充分活かした委員会だったのではないのでしょうか。
- ・本当に重い課題を形にしてくれた、会費・会員資格のことを他から督促を受けてきたが3月の全国会長懇談会で示すことができたのは相当大きなステップアップであったと思い改めて皆さんに感謝します。
- ・大規模災害についても6年前から議題となっていたが、損保協会と今後調整ができるところまで進んで来たと思う。
- ・このように形にしてくれたことは、ただただ感謝しかないですし、今後いろんな形でご一緒する機会があるかと思うので楽しみにしています。
- ・任期はあと2ヶ月ありますので、答申等についても委員長を助けていってください。

以上